

令和6年度水稻作況情報（最終）

○耕種概要

- ・場所 和歌山県農業試験場内圃場（和歌山県紀の川市貴志川町高尾 160）
- ・供試品種 キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
- ・播種期 5月21日
- ・移植期 6月10日
- ・移植方法 機械移植3本植
- ・栽植密度 20.8株/m² (16cm×30cm)
- ・施肥 (N・P₂O₅・K₂O kg/10a)
基肥 4.8-7.2-5.6 追肥①（幼穂形成期頃） 2.4-0-2.4 追肥②（追肥①の10日後頃） 2.4-0-2.4

○気象

最高気温は、7月第3半旬は平年並みであったが、その他の期間は概して平年を大きく上回った。

降水量は、6月第4半旬から7月第3半旬にかけて平年より多く、特に7月第3半旬は顕著であった。その後、8月第2半旬までは平年を下回ったが、8月第3半旬から第6半旬にかけて再び平年を上回り、特に第6半旬では台風の影響により平年を大きく上回った。それ以降は、平年を下回った。

日照時間は、6月第5半旬から第6半旬および7月第3半旬で平年を大きく下回り、7月第3半旬以降は平年並みか平年を上回った。

○生育概況

葉齢は、いずれの品種も平年並みに進展した。

草丈は、‘キヌヒカリ’、‘ヒノヒカリ’で移植後20日頃まで平年を上回っていたが、それ以降は平年並みとなった。‘きぬむすめ’は、生育期間を通してやや平年を上回った。

茎数は、いずれの品種も移植後45日までは平年を上回り、移植後50日には平年並みとなった。

出穂期、穂揃い期は、ともに‘キヌヒカリ’と‘きぬむすめ’で平年より2日早く、‘ヒノヒカリ’で平年より1日早かった。

成熟期は、‘キヌヒカリ’で平年より6日早く、‘きぬむすめ’と‘ヒノヒカリ’で5日早かった。

稈長は、‘キヌヒカリ’と‘ヒノヒカリ’で平年よりやや短く、‘きぬむすめ’で平年並みであった。

穂長は、全ての品種で平年並みであった。

○収量及び品質

精玄米重は、‘キヌヒカリ’で平年比91%と低く、‘きぬむすめ’と‘ヒノヒカリ’で平年並みであった。

穂数は、‘キヌヒカリ’で平年比97%とやや低く、‘きぬむすめ’で92%、ヒノヒカリで90%と低かった。一穂粒数は、‘キヌヒカリ’で平年並み、‘きぬむすめ’で平年比109%と高く、‘ヒノヒカリ’で104%とやや高かった。玄米千粒重は、‘キヌヒカリ’と‘きぬむすめ’で平年並みであり、‘ヒノヒカリ’で平年比106%とやや高かった。登熟歩合は、いずれの品種も平年並みであった。

整粒率は、‘キヌヒカリ’で57.4%（平年比95%）、‘きぬむすめ’で62.6%（平年比89%）、‘ヒノヒカリ’で54.0%（平年比80%）であった。

令和6年度水稲生育状況について

項目	調査日	移植後 日数	キヌヒカリ			きぬむすめ			ヒノヒカリ		
			本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比
葉齢(葉)	6月10日	0日	3.0	0.1 葉	-0.2 葉	3.0	0.0 葉	-0.1 葉	3.2	-0.1 葉	-0.1 葉
	6月20日	10日	5.4	0.4 葉	0.2 葉	5.4	0.3 葉	0.2 葉	5.5	0.3 葉	0.3 葉
	6月30日	20日	8.1	0.2 葉	0.0 葉	8.0	0.1 葉	0.0 葉	8.1	0.0 葉	0.0 葉
	7月10日	30日	10.3	0.2 葉	0.1 葉	10.3	0.1 葉	0.1 葉	10.2	0.0 葉	0.0 葉
	7月15日	35日	10.9	0.2 葉	-0.1 葉	11.0	0.2 葉	0.0 葉	11.1	0.1 葉	0.0 葉
	7月20日	40日	11.5	0.1 葉	-0.2 葉	11.5	0.1 葉	-0.2 葉	11.6	0.1 葉	-0.1 葉
	7月25日	45日	12.2	0.0 葉	-0.2 葉	12.1	0.1 葉	-0.2 葉	12.2	0.1 葉	-0.1 葉
	7月30日	50日	13.3	0.3 葉	0.2 葉	13.1	0.3 葉	0.1 葉	12.7	0.1 葉	-0.2 葉
草丈(cm)	6月10日	0日	18.5	109 %	119 %	19.7	105 %	125 %	15.2	95 %	107 %
	6月20日	10日	26.1	97 %	106 %	27.2	96 %	113 %	20.5	88 %	98 %
	6月30日	20日	40.7	118 %	118 %	40.4	112 %	125 %	31.7	103 %	112 %
	7月10日	30日	63.3	97 %	103 %	61.2	95 %	108 %	52.0	93 %	105 %
	7月15日	35日	70.7	95 %	99 %	72.4	98 %	106 %	61.4	93 %	101 %
	7月20日	40日	80.0	101 %	104 %	81.4	105 %	109 %	69.7	99 %	104 %
	7月25日	45日	84.6	103 %	103 %	85.4	109 %	108 %	75.1	102 %	103 %
	7月30日	50日	90.0	105 %	102 %	87.8	106 %	105 %	77.3	102 %	100 %
莖数(本/m ²)	6月20日	10日	86.8	137 %	137 %	78.8	125 %	124 %	76.7	119 %	121 %
	6月30日	20日	220.5	98 %	109 %	220.1	88 %	114 %	218.4	81 %	110 %
	7月10日	30日	359.7	120 %	116 %	410.1	117 %	120 %	428.8	113 %	123 %
	7月15日	35日	378.5	121 %	116 %	428.8	116 %	115 %	472.9	121 %	121 %
	7月20日	40日	369.8	120 %	113 %	420.1	116 %	113 %	457.3	119 %	118 %
	7月25日	45日	355.9	117 %	109 %	397.6	113 %	110 %	436.1	118 %	115 %
	7月30日	50日	323.6	107 %	101 %	359.0	104 %	101 %	383.3	107 %	104 %
乾物重(mg/本)	6月10日		16.3	112 %	70 %	16.9	107 %	79 %	15.6	108 %	73 %
幼穂形成期(月.日)			7月16日	1 日	-2 日	7月25日	1 日	-1 日	7月29日	-1 日	-1 日
出穂期(月.日)			8月5日	0 日	-2 日	8月15日	0 日	-2 日	8月20日	0 日	-1 日
穂揃い期(月.日)			8月7日	0 日	-2 日	8月17日	1 日	-2 日	8月23日	1 日	-1 日
成熟期(月.日)			9月6日	-1 日	-6 日	9月20日	0 日	-5 日	9月27日	1 日	-5 日
主稈止葉葉位(葉)			13.3	0.1 葉	-0.4 葉	14.5	0.5 葉	-0.2 葉	15.0	0.2 葉	0.1 葉
稈長(cm)			82.6	95 %	95 %	85.5	95 %	97 %	80.9	94 %	95 %
穂長(cm)			18.9	98 %	98 %	20.1	103 %	102 %	20.4	102 %	102 %

収量及び収量構成要素

項目		キヌヒカリ	きぬむすめ	ヒノヒカリ
穂数 (本/m ²)	本年値	314.1	297.4	294.7
	平年比(%)	97	92	90
一穂粒数 (粒/穂)	本年値	88.8	107.6	89.0
	平年比(%)	98	109	104
玄米千粒重 (g)	本年値	22.0	22.3	23.5
	平年比(%)	98	101	106
登熟歩合 (%)	本年値	79.9	83.6	86.5
	平年比(%)	99	100	101
精玄米重 (kg/10a)	本年値	490.0	595.2	532.3
	平年比(%)	91	102	99

注) 篩い目は1.8mm

平年比は、過去7年間のデータのうち、最小値と最大値を除いて平均した数値との比較

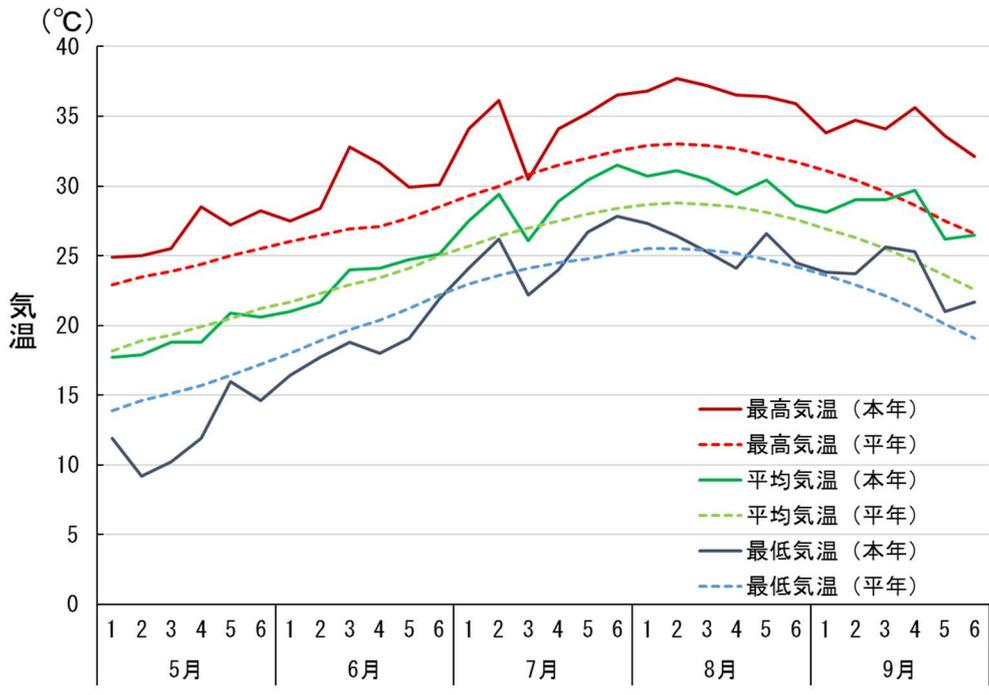
玄米千粒重、精玄米重は、玄米水分15%換算値

玄米品質

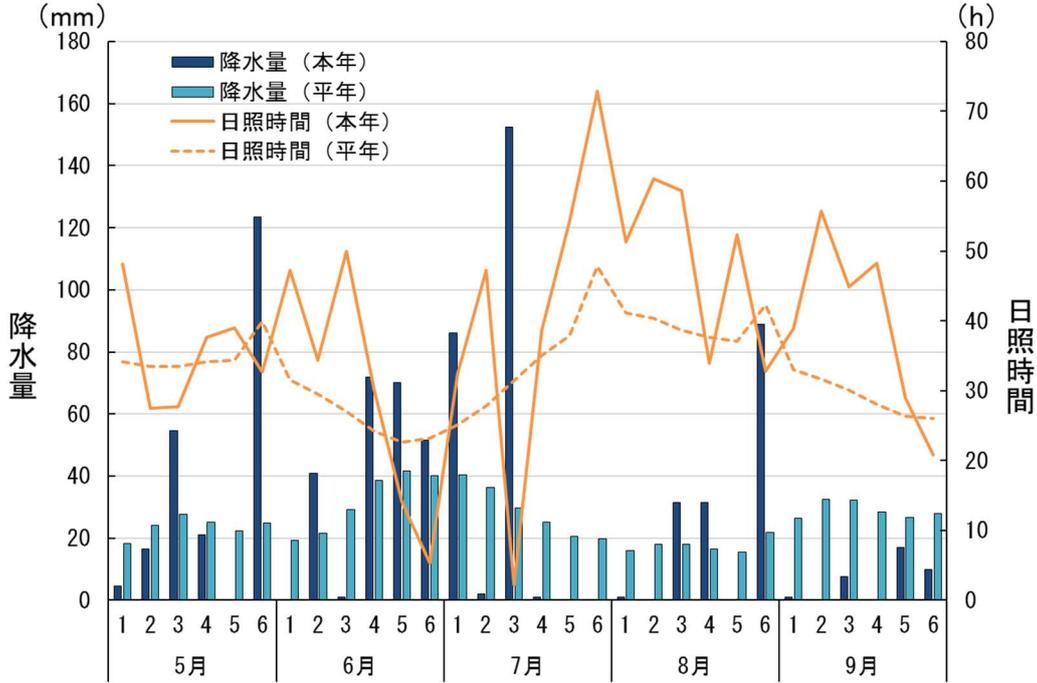
項目		キヌヒカリ	きぬむすめ	ヒノヒカリ
整粒(%)	本年値	57.4	62.6	54.0
	平年比(%)	95	89	80
未熟粒(%)	本年値	36.7	33.8	40.1
被害粒(%)	本年値	4.9	2.6	4.2
死米(%)	本年値	0.7	0.7	0.6
着色粒(%)	本年値	0.3	0.3	1.1

注) 数値は穀粒判別器(静岡製機ES-1000)で測定したもの

平年比は上記の表と同様



半旬別気温の推移(2024)



半旬別降水量・日照時間の推移(2024)

注) 気象庁の気象データをもとに作成
測定地点は「和歌山」